開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及

中南米・経橈骨動脈カテーテル法による虚血性心疾患治療普及促進事業

（テルモ株式会社）

中南米の医療事情

- 中南米では虚血性心疾患が死因の上位を占めているが、身体的・経済的に負担の大きい治療が主流。

事業のポイント

- 手首から挿入し、安価かつ身体的負担が軽い「経橈骨動脈冠動脈カテーテル法（TRI法）」を展開。
- 2011年度に始まったJICA-テルモ社によるメキシコでの官民連携事業で、当該国におけるTRI法が急速に普及(5%→30%)

「民間技術普及促進事業」の概要

- 2014年より、ブラジル、アルゼンチン、コロンビア、メキシコの国立病院の医師等合計約40名を、数次に分けて日本で研修。各々半年後を目途に、現地フォローアップ指導で、技術の向上を確認。
- 本邦研修では、日本のトップドクターによりTRI法の技術指導を実施。
- 現地フォローアップでは各国の医師、保健省高官等を広く招いたセミナーも実施。
- JICAが有する各国政府及び公的医療機関とのネットワークをテルモに提供。

手首よりカテーテルを挿入（TRI法）

成果

- メキシコに加え、新たにブラジル、アルゼンチン、コロンビアの南米3か国を対象にした、TRI法の展開。
- メキシコTRIトレーニングセンターが開設され、技術協力プロジェクトへ展開。

より持続的かつ迅速な社会開発

JICAの目的：中南米での社会開発

企業側の目的：対象市場拡大 社会的責任

連携